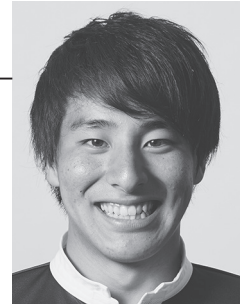


3. 初めての夏合宿に参加して

初めての夏合宿を終えて

木 下 空 (1回生・同志社)

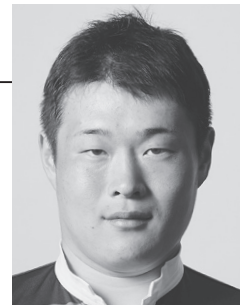
いつも同志社大学ラグビー部を応援してくださり、ありがとうございます。この厳しい合宿を通してラグビー以外にも多くのことを学ぶことができました。厳しい練習を乗り越える忍耐力、全員で協力して何かをする団結力。特に今年のスローガンである「BOND」が深まったような合宿になったと思います。残りシーズンまで少ない日数チームのために何が出来るかを考え、努力していこうと思いました。



初めての夏合宿を終えて

畠 中 輝 (1回生・東福岡)

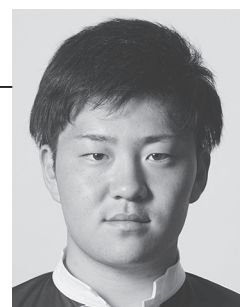
今回同志社大学ラグビー部に入部して初めての夏合宿に参加しました。夏合宿ではやはり、苦しいことも多くありました。特に、ひたすらラインアウトモールやスクラムを練習したため、きついと感ずることが多かったです。それでも他の大学に負けられないという思いや、同級生や先輩が励ましてくれたため、きつい練習を乗り越えることができました。自分は今回の合宿で技術的・身体的・精神的に成長することができたと思います。思い返せばきつかった思い出ばかりですが、この合宿に参加してよかったと思います。これからは少しでも上のチームにからんでいけるように頑張ります。



初めての夏合宿を終えて

斉 藤 響 (1回生・福岡工業大学附属城東)

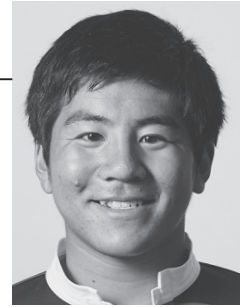
私は夏合宿を二週間以上も過ごしたことがなく、不安でした。しかし、終えてみると達成感と多くの課題を得ることが出来た意義あるものでした。入部してからは関西の大学と試合をしてきたので、関東の大学と試合を行う機会がありませんでした。関東の大学には春シーズン終了後から合宿中を通して集中してきたフォワードのセットプレーで良い勝負ができ、手応えを感じました。また、多くの一回生も積み上げてきたフィジカル面で手応えを感じました。夏合宿では食事の際に多くの差し入れを頂き、多くの方に応援して頂いていると改めて感じました。その応援に応えるためにも夏合宿で得た成果と課題をシーズンまでに修正して、どんな形でもチームの勝利に貢献したいです。



初めての夏合宿を終えて

東 谷 康 平 (1回生・滋賀学園)

私は今年、初めて同志社大学の夏合宿に参加しました。大学の夏合宿は高校と比べて、期間が長く非常にハードでした。しかし、このタフな合宿を経験できたことは、これからシーズンに向かうにあたって、大きな自信となりました。また、他のチームメイトと寝食を共にする合宿は、同級生のみならず、先輩方やスタッフ、コーチの方々とコミュニケーションを取る機会が普段よりも多く、その中で色々なことを吸収することが出来ました。間もなくシーズンが始まりますが、この合宿で積み上げたものを崩さず、更にレベルアップしていきたいと思えます。



初めての夏合宿を終えて

文 裕 徹 (1回生・大阪朝鮮)

8月9日～24日まで夏合宿に同志社大学ラグビー部員として初めて参加してみて色々なことに気づくことができました。普段、京田辺に居る時には気づくことができなかった細かなところも、合宿に行くことで気づいたことがたくさんありました。それは、試合時、ベンチ（テント）の中にゴミやアップTシャツなどが散乱していました。カバンもしっかりと並んでおりませんでした。高校時代の監督に「服装の乱れは、心の乱れ」「ラグビーは私生活が影響する」と教わったのにも関わらず、自分自身疎かにしてしまい、しっかりとできていませんでした。Aチームを14-92で破った東海大学は試合後、部員全員でグラウンドのゴミ拾いをしていました。その姿を見ることができたのが一番良い経験になりました。

